

平成29年度 定期作況報告

(7月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

6月下旬:平均気温は平年より1.0℃低く、降水量は平年の329%、日照時間は平年の60%であり、低温・多雨・寡照に経過した。

7月上旬:平均気温は平年より2.4℃高く、降水量は平年の64%、日照時間は平年の138%であり、高温・少雨・多照に経過した。

7月中旬:平均気温は平年より3.0℃高く、降水量は平年の137%、日照時間は平年の107%であり、高温・多雨に経過した。

6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年より1.4℃高く、降水量は平年の153%、日照時間は平年並で、高温・多雨に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	21.6	23.9	△ 2.3	28.2	25.3	2.9	27.1	24.8	2.3	25.6	24.7	0.9
最低気温(℃)	13.4	14.1	△ 0.7	17.2	16.0	1.2	19.1	16.3	2.8	16.6	15.5	1.1
平均気温(℃)	17.3	18.3	△ 1.0	22.3	19.9	2.4	22.9	19.9	3.0	20.8	19.4	1.4
降水量(mm)	60.5	18.4	△ 42.1	19.0	29.8	△ 10.8	47.5	34.6	12.9	127.0	82.8	44.2
日照時間(hr)	38.5	64.2	△ 25.7	79.4	57.4	22.0	58.9	55.1	3.8	176.8	176.7	0.1

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作況

7月20日 平年並

事由:6月下旬は低温・寡照に経過したため、幼穂形成期は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ平年より1日遅かった。7月上旬および7月中旬は高温に経過したが、主稈の止葉葉数はそれぞれ平年比で0.2枚、0.5枚多かったため、止葉始は「ななつぼし」で平年より1日、「ゆめぴりか」で平年より3日遅かった。

7月20日において、草丈は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比102%、100%であった。茎数はそれぞれ平年比で91%、93%であった。主稈葉数はそれぞれ平年より0.2枚、0.5枚多かった。すなわち、草丈は平年並で、茎数は平年よりやや少なく、葉数は平年並からやや多かった。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

参考

6月20日 平年並

事由:5月5半旬の気温は平年並に経過したため、移植から活着までの日数は平年並であった。6月上旬および6月中旬は低温に経過したが、6月中旬は多照に経過したため、初期分けつの発生は平年並であった。

6月20日において、草丈は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ平年比99%、99%であった。茎数はそれぞれ平年比104%、95%であった。主稈葉数はそれぞれ平年より0.1枚ずつ少なかった。すなわち、草丈、茎数、葉数はそれぞれ平年並であった。

以上により、6月20日時点の作況は、平年並である。

5月20日 平年並

事由:播種は平年より2日遅い4月19日に行った。播種後から4月5半旬にかけて低温に経過したため、出芽に日数を要し、出芽期は播種後7日目であった。その後、平均気温は平年より高く、日照時間は平年並からやや多く経過したため、生育は遅れをやや取り戻した。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗において、茎数は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ平年並で、葉数はそれぞれ平年比で0.1枚ずつ多かった。草丈はそれぞれ平年比で90%、93%で、100本あたりの地上部乾物重はそれぞれ平年比で84%、88%であった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比で94%、95%であった。すなわち、葉数は平年並で、草丈はやや低く、乾物重は小さく、苗の充実度は平年並であった。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.19	4.17	2	4.19	4.17	2	
移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
幼穂形成期 (月.日)	7.02	7.01	1	7.03	7.02	1	
止葉始 (月.日)	7.14	7.13	1	7.17	7.14	3	
出穂期 (月.日)		7.27			7.27		
成熟期 (月.日)		9.14			9.14		
穂揃日数 (日)		6.6			6.8		
登熟日数 (日)		49			49		
生育日数 (日)		150			150		
移植時地上部乾物重 (g/100本)	1.90	2.25	△ 0.35	1.94	2.21	△ 0.27	
草丈 (cm)	移植時	9.9	11.0	△ 1.1	10.0	10.8	△ 0.8
	6月20日	28.7	29.1	△ 0.4	29.0	29.2	△ 0.2
	7月20日	73.5	71.8	1.7	72.2	72.1	0.1
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	331	318	13	343	361	△ 18
	7月20日	692	758	△ 66	775	835	△ 60
主稈葉数 (枚)	移植時	3.1	3.0	0.1	3.3	3.2	0.1
	6月20日	6.9	7.0	△ 0.1	7.1	7.2	△ 0.1
	7月20日	10.3	10.1	0.2	11.0	10.5	0.5
	止葉	10.3	10.1	0.2	11.0	10.5	0.5
稈長 (cm)		68.8			66.9		
穂長 (cm)		16.5			16.6		
穂数 (本/m ²)		730			799		
一穂粒数 (粒/本)		49.9			42.5		
m ² あたり粒数 (百粒)		364			340		
稔実歩合 (%)		93.1			92.4		
登熟歩合 (%)		83.4			78.0		
籾摺歩合 (%)		77.0			74.1		
屑米歩合 (%)		6.1			9.2		
千粒重 (g)		22.6			23.2		
わら重 (kg/a)		65.9			65.0		
精籾重 (kg/a)		77.9			75.8		
精玄米重 (kg/a)		60.0			56.2		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		1等			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、22年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=7.0-8.5-6.0 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m² 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 刈り取り面積は一区3.96m²。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

6月下旬：平均気温は平年より1.3℃低く、降水量は平年の333%、日照時間は平年の75%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

7月上旬：平均気温は平年より2.2℃高く、降水量は平年の39%、日照時間は平年の155%であり、高温、少雨、多照に経過した。

7月中旬：平均気温は平年より2.5℃高く、降水量は平年の241%、日照時間は平年の101%であり、高温、多雨に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より1.1℃高く、降水量は平年の197%、日照時間は平年の108%であり、高温、多雨に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.8	23.2	△ 2.4	27.3	24.4	2.9	25.7	24.1	1.6	24.6	23.9	0.7
最低気温(℃)	12.5	13.5	△ 1.0	16.3	15.3	1.0	18.2	15.6	2.6	15.7	14.8	0.9
平均気温(℃)	16.5	17.8	△ 1.3	21.4	19.2	2.2	21.8	19.3	2.5	19.9	18.8	1.1
降水量(mm)	64.0	19.2	44.8	10.0	25.4	△ 15.4	77.5	32.2	45.3	151.5	76.8	74.7
降水日数(日)	5.0	1.4	3.6	2.0	1.9	0.1	4.0	1.5	2.5	11.0	4.8	6.2
日照時間(hr)	41.8	55.5	△ 13.7	72.7	46.9	25.8	49.6	49.3	0.3	164.1	151.7	12.4

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(平成28年播種)

平成28年9月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より6日早い9月13日で、安定した越冬のために必要な生育量の確保には問題のない播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成28年10月20日作況：平年並

事由：出芽は良好で出芽期は平年より8日早い9月20日であった。その後、9月下旬は高温、多照で推移したため生育は順調であった。10月20日現在で草丈は平年より長く、茎数も一部分げつが始まっているため平年を大きく上回り、越冬に必要な生育量は確保された。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成29年5月20日作況：やや良

事由：越冬前の草丈は平年よりやや大きく、茎数もやや上回っていた。根雪始は平年より17日早い11月22日で、根雪終は3月24日（融雪剤散布）と平年より6日早く、積雪期間は平年より11日長い122日であった。雪腐病による冬損は見られず、越冬後の茎数は平年をやや上回った。5月20日現在で草丈、茎数は平年を上回っているが、倒伏が懸念される。

以上により、現在の作況はやや良である。

平成29年6月20日作況：やや良

事由：出穂期は平年より6日早かった。6月上旬から中旬にかけて低温で推移したため生育は緩慢になったが、これまでの生育が旺盛であったため6月20日現在で草丈、茎数ともに上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

平成29年7月20日作況：やや良

事由：6月下旬は低温で推移したが、7月上中旬は平年より2℃以上気温が高く推移し、成熟期は平年より1日早い7月18日であった。成熟期における稈長、穂長は平年並で、穂数は平年を大きく上回った。

以上により、現在の作況はやや良である。

項目 \ 年次		品種名	きたほなみ		
			本年	平年	比較
播種期	(H28.月.日)		9.13	9.19	△ 6
出芽期	(H28.月.日)		9.20	9.28	△ 8
出穂期	(H29.月.日)		6.1	6.7	△ 6
成熟期	(H29.月.日)		7.18	7.19	△ 1
冬損程度	(0:無～5:甚)		0.0	0.7	△ 0.7
草丈 (cm)	H28.10.20		23.4	18.1	5.3
	H29.5.20		52.8	43.0	9.8
	H29.6.20		104.0	97.5	6.5
茎数 (本/m ²)	H28.10.20		1198	581	617
	越冬前(11月)		1296	1198	98
	越冬後(4月)		1883	1809	74
	H29.5.20		1678	1322	356
	H29.6.20		898	777	121
成熟期における	稈長 (cm)		91	88	3
	穂長 (cm)		9.0	8.8	0.2
	穂数 (本/m ²)		831	693	138
倒伏程度	(0:無～5:甚)		0.0	0.4	△ 0.4
子実重	(kg/10a)			706	
容積重	(g/l)			808	
千粒重	(g)			38.1	
品質	(等級)			2等	
子実重平年対比	(%)			100	

注1) 平年値:前7か年中、平成28年(最凶)、平成26年(最豊)を除く5か年平均(収獲年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦

5月20日作況: やや良

事由: 根雪終(融雪剤散布)は、平年より6日早い3月24日であった。播種期は平年より1日遅い4月17日であり、その後、気温は平年より低く推移したが、出芽期はほぼ平年並となった。5月上旬以降、気温が平年より高かったことから生育が進み、現在のところ、草丈は平年並みで、莖数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

6月20日作況: やや良

事由: 6月1～3半旬が低温で推移したため生育は緩慢となり、出穂期は4～5日の遅れになると予想される。莖数は平年を上回り、草丈はほぼ平年並みである。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況: 平年並

事由: 稈長は平年より長く、穂長は平年並みで、穂数は平年を大きく上回った。7月16日と17日の降雨により、倒伏が生じた。両品種ともほぼ全面が倒伏しており、登熟への影響が懸念される。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.17	4.16	1	4.17	4.16	1
出芽期	(月.日)	4.30	5.01	△ 1	5.02	5.01	1
出穂期	(月.日)	6.21	6.17	4	6.20	6.15	5
成熟期	(月.日)		7.29			7.31	
草丈	5月20日	21.8	21.2	0.6	22.6	22.8	△ 0.2
(cm)	6月20日	84	82	2	84	83	1
茎数	5月20日	670	581	89	650	545	105
(本/m ²)	6月20日	905	723	182	846	679	167
7月20日	稈長 (cm)	100	91	9	99	89	10
または	穂長 (cm)	8.2	8.5	△ 0.3	7.5	7.7	△ 0.2
成熟期	の穂数 (本/m ²)	716	484	232	696	465	231
子実重	(kg/10a)		451			463	
千粒重	(g)		39.0			42.9	
リットル重	(g)		797			799	
品質	(等級)		1等			2等	
子実重	平年対比 (%)		100			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成23年(最凶)、平成24年(最豊)を除く5カ年平均。

リットル重は1リットル升による測定。

3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年と同日の5月22日で、出芽期は平年より2日早かった。
出芽後の6月上～中旬の気温が低く、主茎長は平年よりやや短かったが、
主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:開花期は平年より1日早い7月15日であった。分枝数はやや少ないが、
主茎長および主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.1	6.3	△ 2
開花期	(月.日)	7.15	7.16	△ 1
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	9.2	11.4	△ 2.2
	7月20日	43.8	44.7	△ 0.9
	8月20日		54.6	
	9月20日		54.9	
	成熟期		54.9	
主茎節数 (節)	6月20日	3.1	3.0	0.1
	7月20日	10.1	9.5	0.6
	8月20日		10.0	
	9月20日		10.0	
	成熟期		10.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	5.9	6.6	△ 0.7
	8月20日		7.3	
	9月20日		6.9	
	成熟期		6.5	
着莢数 (莢/株)	8月20日		77.2	
	9月20日		70.0	
	成熟期		66.7	
一莢内粒数			1.85	
子実重 (kg/10a)			405	
百粒重 (g)			39.6	
屑粒率 (%)			1.3	
品質 (等級)			2下	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成24年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。出芽は良好で、出芽期は平年より5日早い6月6日であった。6月20日現在で主茎長は平年より短い、主茎節数は平年より多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：7月上旬から中旬にかけて高温で推移した。7月20日現在で主茎長は平年よりやや短く、分枝数は少ないが、主茎節数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.25	△ 1
出芽期	(月.日)	6.06	6.11	△ 5
開花期	(月.日)		7.21	
成熟期	(月.日)		9.03	
主茎長 (cm)	6月20日	3.1	3.6	△ 0.5
	7月20日	22.1	23.6	△ 1.5
	8月20日		62.0	
	成熟期		61.6	
主茎節数 (節)	6月20日	2.0	1.5	0.5
	7月20日	10.0	9.3	0.7
	8月20日		14.3	
	成熟期		14.3	
分枝数 (本/株)	7月20日	2.7	3.6	△ 0.9
	8月20日		3.7	
	成熟期		3.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日		57.7	
	成熟期		52.4	
一莢内粒数			5.80	
子実重	(kg/10a)		288	
百粒重	(g)		12.1	
屑粒率	(%)		4.3	
品質	(等級)		4上	
子実重平年対比	(%)		100	

注) 平年値は前7カ年中、平成27年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終は平年より15日早い3月17日（融雪剤散布）で、植付期は平年より5日早い4月22日であった。5月20日現在で一部萌芽は始まっているものの、萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：萌芽期は平年より5日遅い5月27日であった。6月上～中旬が低温に推移したため、茎長はやや短く、茎数はやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：開花始は平年と同日の6月21日であった。7月上旬以降高温に推移したため、茎数はやや少ないが、茎長は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期 (月・日)		4.25	4.27	△ 2
萌芽期 (月・日)		5.27	5.22	5
開花始 (月・日)		6.21	6.21	0
枯凋期 (月・日)			8.20	
茎長 6月20日 (cm)		32 45	36 47	△ 4 △ 2
茎数 6月20日 (本/株)		3.8 3.6	4.8 4.7	△ 1.0 △ 1.1
8月20日における				
上いも数 (個/株)			11.7	
上いも平均一個重(g)			89	
上いも重 (kg/10a)			4535	
でん粉価 (%)			15.5	
枯凋期における				
上いも数 (個/株)			12.0	
上いも平均一個重(g)			87	
上いも重 (kg/10a)			4611	
中以上いも重(kg/10a)			3830	
でん粉価 (%)			15.4	
上いも重平年対比 (%)			100	
中以上いも重 " (%)			100	
でん粉価 " (%)			100	

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最豊)、24年(最凶)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。